

認定社会福祉士制度

認定社会福祉士や認定上級社会福祉士って？

はじめに

- 2014年4月に全国で178名(東京28名) の認定社会福祉士が認定されてから10年の月日経ちました。2024年4月現在829名が登録されています。
- 認定機構基本問題検討委員会からの提言（2016年3月）において、制度設計時に想定したすべての社会福祉士が認定社会福祉士を目指すことや、社会的に求められる認定社会福祉士の人数等を検討し、2025年度に7,000人、2035年度に20,000人という目標値を設定している。

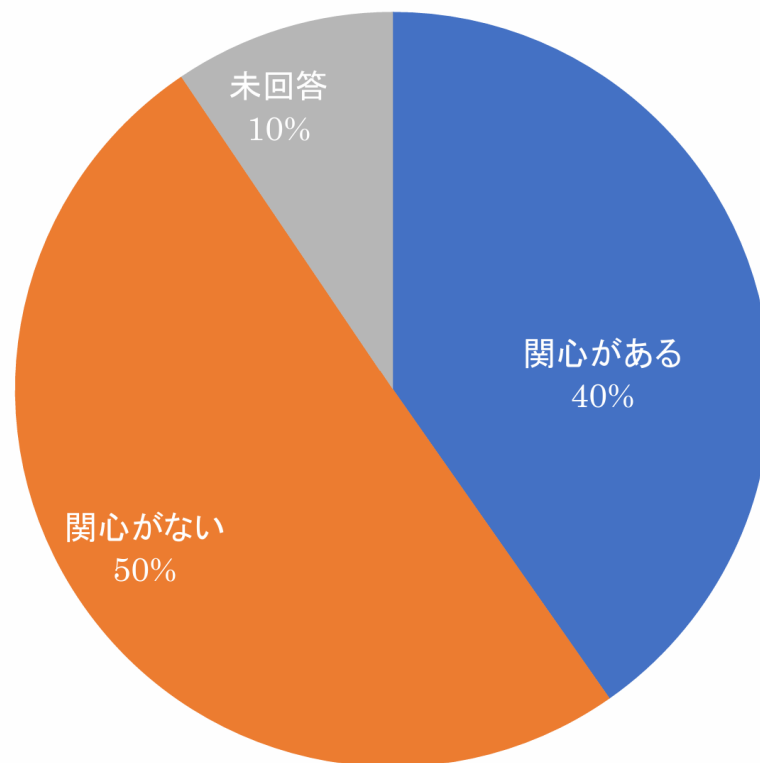
認定社会福祉士の活用の促進

- 認定社会福祉士については、東京都や神奈川県の高齢者保健福祉計画に活用が記載されたり、2018年度には広島県及び広島市スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザー募集要件に認定社会福祉士（児童・家庭）が位置づけられたりした。また、救世軍自省館の職員募集に認定社会福祉士の取得をサポートすることが謳われた。
- 厚生労働省社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会の報告書「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」（2018年3月）では、地域共生社会の実現に向けてソーシャルワーク機能の重要性が指摘されるとともに社会福祉士に求められる役割が明記され、「実践力を向上させていくためには～職能団体が中心となって取り組んでいる認定社会福祉士制度を活用することが考えられる」と記載された。

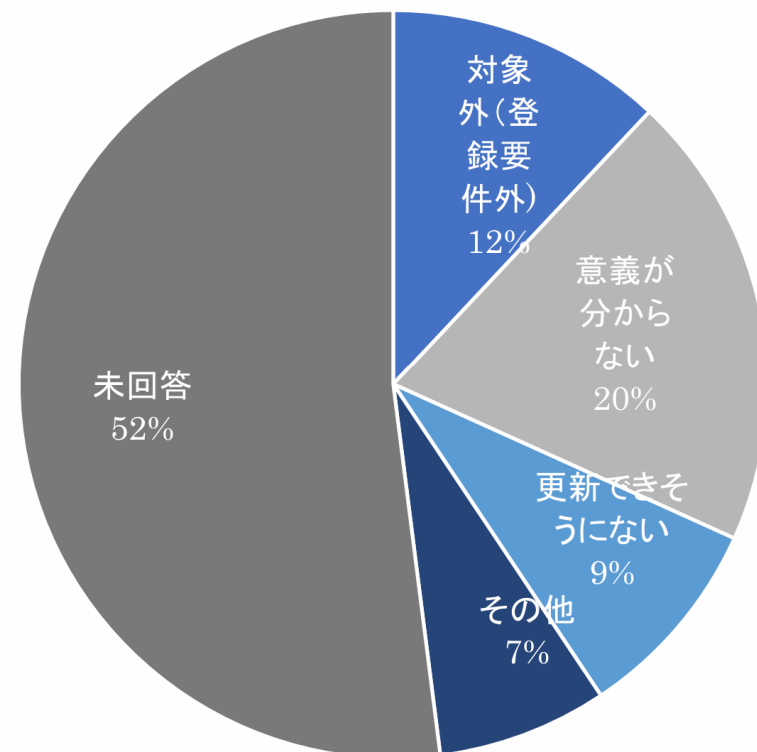
出典：認定社会福祉士認証・認定機構 中期の方針(2019年度～2023年度)

日本社会福祉士会の 2018年の調査では

問2-4 制度への関心 n=1110



問2-4-2 関心がない理由（複数回答） n=1442



認定社会福祉士認定社会福祉士制度に関する ご意見やご感想(複数回答)2018年調査

1	時間が確保できない／忙しくて取り組めない／受講しづらい・できない
2	取得によるメリットが理解できない
3	社会福祉士の地位・資質・実践能力の向上を優先すべき
4	受講に係る費用が高い
5	認定社会福祉士制度がよくわからない／複雑である
6	認定社会福祉士制度の必要性が理解できない
7	認定社会福祉士がなくても仕事ができる
8	認定社会福祉士の取得ルートがわかりづらい
9	認定社会福祉士制度の社会的な認知・評価が低い
10	高齢による年齢的なことから認定社会福祉士の取得が困難

感想から

- 認定社会福祉士のメリットがわからないから、認定社会福祉士の取得のために時間を割くことが出来ない。
- 取得ルートがわかりにくい
- 他にやることがある。

社会福祉士を取り巻く環境

- 社会福祉士の資格登録者は令和6年度9月現在30万6,532名が登録されています。平成31年3月が23万3,517名。令和5年3月28万968名。
- 合格率は第34回までは30%前後であったが、第35回では44.2%
- 前回試験では、58.1%となっている。
- 専門職としての質の担保に関しては、資格取得後の自己研鑽に委ねられ始めてるとも言える。

質の担保に必要なこと

- 実践力をいかに担保するのか。実践研究大会等への発表での参加
- 実践力の担保にあたって、ソーシャルワーカーのグローバル定義や倫理綱領・行動規範をもっと身近に。
- 後進の育成にどの様に関わるか。
実習の受入や指導におけるSVを通して、伝えていく。

認定社会福祉士制度は

- 認定社会福祉士制度は、社会福祉士としての実践力や専門性を第三者機関 ※ が審査し、認定する仕組みです。認定社会福祉士を取得することは、ご自身の社会福祉士としての実践力や専門性を確認できるとともに、そのことをクライアントや関係者に示すことになります。

出典：日本社会福祉士会より 自分のためとして

認定社会福祉士制度は

- 認定社会福祉士は、高度な知識と卓越した技術を用いて、個別支援や他職種との連携、地域福祉の増進を行う能力を有すると認められた社会福祉士です。 個別援助はもとより、組織や地域での実践においても、より良い実践の展開に繋がります。

出典：日本社会福祉士会より クライエントのためとして

認定社会福祉士制度は

- 社会福祉士の取得は、専門職として実践を行うためのスタートラインです。認定社会福祉士の取得をすることで、職場内でのリーダーシップや実習指導などの人材育成における指導的役割、他職種との連携等を担いすべての社会福祉士のレベルアップに貢献することができます。

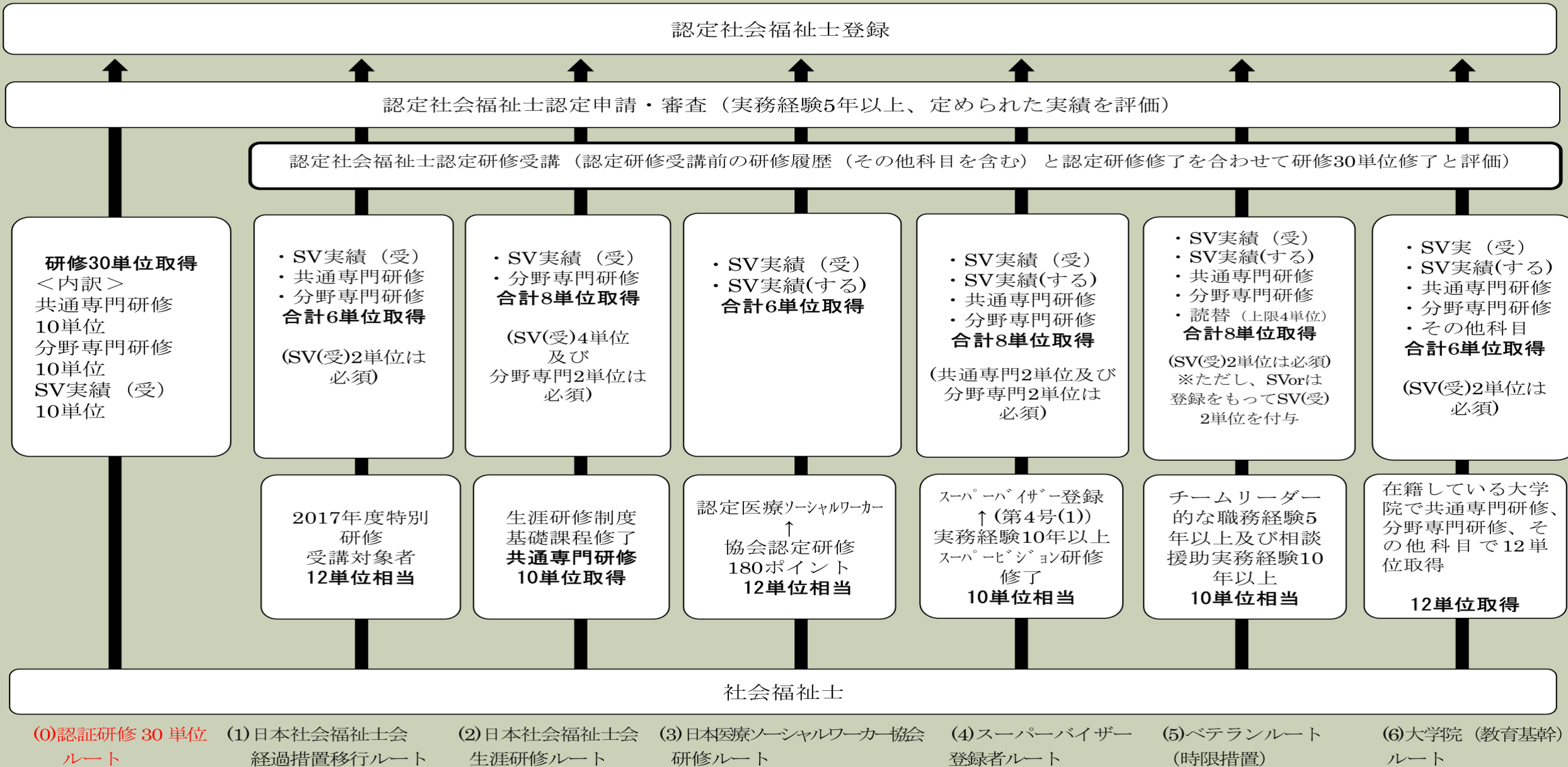
出典：日本社会福祉士会より すべての社会福祉士のためとして

認定社会福祉士の取得ルート

- 現在、認定社会福祉士認証・認定機構が示している認定社会福祉士の取得ルートは以下の7種類
- 認証研修 30 単位ルート
- 日本社会福祉士会経過措置移行ルート
- 日本社会福祉士会生涯研修ルート
- 日本医療ソーシャルワーカー協会研修ルート
- スーパーバイザー登録者ルート
- ベテランルート
- 大学院（教育基幹）ルート

認定社会福祉士取得ルート

共通専門研修、分野専門研修は機構が認証した研修で、大学や職能団体等が開催しています。



※「その他科目」は共通専門研修、分野専門研修へ一部振替が可能。

認定社会福祉士を取得後は

- 更新や認定上級社会福祉士に向けて、さらなる研鑽が必要になります。
- 社会情勢は刻々と変化していくので、支援の形もまた様変わりしていきます。社会福祉士制度が出来た30年前と今の福祉では支援のあり方も変化していきます。
- 時代の要請に応えられる社会福祉士であるために、出来る準備は自己研鑽とネットワーク作りです。
- 自己研鑽とネットワーク作りを東京社会福祉士会生涯研修センターでは応援しております。

参考（もっと詳しく知りたい方は）

- 認定社会福祉士制度 申請及び更新 ・ 認定上級社会福祉士
- **日本社会福祉士会**→社会福祉士の皆様へ→認定社会福祉士登録機関
- **認定社会福祉士認定・認証機構**→認定社会福祉士になるには
- の各HPを確認してみてください。